

平成23年度 きょうと農商工連携応援ファンド支援事業 <採択事業 14件>

番号	申請者名 上段:農林漁業者 下段:中小企業者	地区	テーマ名・内容
1	野菜の宅配 ぼのぼの 代表 青木伸一	丹後	丹後の自然栽培野菜を使った「ナチュラル京やさいスープ」等の開発
	(株)いととめ 代表取締役社長 廣野公昭	丹後	野菜の直販や通販事業を行っていたUターン青年農家が地元食品スーパーのいととめと連携、素材のおいしさを活かした無添加のスープ、カレー、シチューなどの開発を企画、関東圏のスーパーなどで自然志向・健康志向の強い消費者をターゲットに販売する。
2	ふくき 福喜農園(株) 代表取締役 松村竹治	丹後	京丹後茶葉を活用した石鹸の開発・販売
	(有)オフィスイケモト 代表取締役 池本多鶴子	京都乙訓	国営農地でお茶を生産している福喜農園が化粧品の販売を行っているオフィスイケモトと連携、下級茶葉を活用して加工した石鹸を、オフィスイケモトの販売網を利用して販売を行う。
3	のうじん 京都農人クラブ 会長 山崎高雄	丹後 他	京野菜おやき等の開発及び販売
	こと京都(株) 代表取締役 山田敏之	京都乙訓	府内の農業生産者で組織する京都農人クラブとこと京都(株)が連携し、生産野菜の直売事業と併せて京野菜おやき等の開発・販売を行う。こと京都の生産拠点のある観光地、美山町に直営店をオープンさせ、観光客向けに販売するとともに、全国展開、輸出も視野に入れて事業を展開する。
4	布施 直樹	中丹	体験型酒造りと酒米作りを通じたファンの獲得と三方よしの商品開発事業
	池田酒造(株) 代表取締役 池田崎子	中丹	若手農業者と地元酒造メーカーが連携し、農作業から酒造りまでの一貫した体験の提供、酒粕利用による循環型農業の実践を行う。舞鶴の米と水を使ったにがり酒の商品化、体験ツアーを通じファンを獲得する。
5	農事組合法人 京丹波ほたるの里 代表理事 谷山建夫	南丹	京丹波ブランド農作物規格外再生プロジェクト事業 — 夏でも売れる京丹波風和菓子の開発・販売 —
	鎌谷中もえぎグループ企業組合 代表理事 細井百合子	南丹	農事組合法人京丹波ほたるの里で生産される丹波黒大豆のうち、規格外品を利用して、加工品づくりのノウハウをもつ鎌谷中もえぎグループ企業組合が、夏に売れる新しい和菓子を開発・販売する。
6	またばやし 南丹市美山町又林農事組合 代表者 木戸 勲	南丹	美山産有機大豆にこだわった「京・美山ゆば」の新商品開発とブランド化
	(株)京・美山ゆば ゆう豆 代表取締役 太田雄介	南丹	転作田で有機大豆を栽培している又林農事組合とゆばの販売業者の(株)京・美山ゆば ゆう豆が連携し、ゆばを製造、また地元菓子製造業者の協力を得てゆばスイーツを開発・販売。
7	農の郷 せき屋 代表者 関 茂久	南丹	亀岡で採れた野菜を使った「京野菜スイーツ」の商品化事業
	(株)グロウティ 代表取締役 安田哲郎・谷口年男 (共同代表)	南丹	地元で野菜を栽培している農家グループと地元でみやげ物店を営む豆屋黒兵衛(株)グロウティが連携し、京野菜を使ったジャム、ロールケーキ等スイーツの商品を開発・販売する。
8	保津町まちづくりビジョン推進会議 産品生産チーム事務局 吉田 実	南丹	地元産柚子を使った地場サイダーの開発とまちづくり、観光事業との連携
	柑橘館河田商店 河田直樹	京都乙訓	保津川のまちづくりに参加している地元農家が柑橘館河田商店と連携、地元産の柚子を使用した保津川サイダーの製造、販売を行う。
9	上賀茂特産野菜研究会 会長 大野容且	京都乙訓	賀茂茄子を使った商品開発により賀茂茄子の消費を全国に広める
	(株)美濃吉食品 代表取締役 大西常昭	京都乙訓	規格外の賀茂茄子を美濃吉食品のノウハウを用いて付加価値の高い商品を開発し、賀茂茄子の消費拡大を図り、生産者が安心して生産できるようにする。
10	中嶋農園 代表 中嶋直己	京都乙訓	京都産黒米「武士米」のブランド確立と新商品開発事業
	(有)京フーズ 代表取締役 関 佳彦	京都乙訓	Uターン青年農家が京フーズと連携して黒米をお弁当やサンドイッチとして新商品化。京都産黒米「武士米」ブランドで販売を行う。
11	木津川市山城町森林組合 代表理事・組合長 荒瀬達弘	山城	竹繊維炭を51%混入したフィルム事業によるコンビニ弁当箱開発
	(有)イーティエイトク 代表取締役 佐川永徳	京都乙訓	森林組合が竹繊維・竹炭を製造し、イーティエイトクが竹繊維・竹炭を51%以上混入した粒状ペレットやコンビニ弁当ケースなどの成型品に加工、森林組合が販売する。
12	全農京都府本部 本部長 細見泰敏	京都乙訓	目指せ！メジャー「宇治茶インスタントティー」
	(株)宗新 代表取締役 入江宗輔	山城	粉末茶と異なる製法により、宇治茶(100%)を低温抽出した茶をスプレードライ製法で乾燥させ、造粒工程を経て製造。インスタントコーヒーと同じ製法で、お湯を注ぐだけで手軽に美味しいお茶が飲める。本事業にはポッカコーポレーションも協力。商品デザインと宣伝広告費に対して助成要望。
13	とじゃく (株)杜若園芸 代表取締役 岩見悦明	山城	花ハスを活用した「スイーツ」「健康食品」等の開発
	京都グレインシステム(株) 代表取締役 田宮尚一	京都乙訓	水生植物の生産・販売を専門としている杜若園芸が各種健康飲料の製造を行っている京都グレインシステムと連携、レンコン以外のハスの部位を活用し、スイーツ等を開発、観光客や健康志向の消費者を対象に直販またはネットで販売を行う。
14	(農)京都養鶏生産組合 代表理事 西田 敏	山城	オリジナルな鶏卵「京たまご」を使った新商品(ケーキ類)の開発による京都ブランドを創造
	(有)ツァ・クローネ 代表取締役 阪本秀伸	山城	京都養鶏生産組合と洋菓子製造販売を営む(有)ツァ・クローネが連携し京都らしさを意図したスイーツを開発販売。